

チャノキイロアザミウマ情報第3号

平成28年7月1日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除室

1 発生の状況

黄色粘着トラップによるチャノキイロアザミウマ成虫の誘殺数は、豊橋市、東浦町のブドウほ場では平年並ですが、南知多町、蒲郡市のカンキツほ場ではやや多い状況です。発生時期はやや早い状況です(図)。

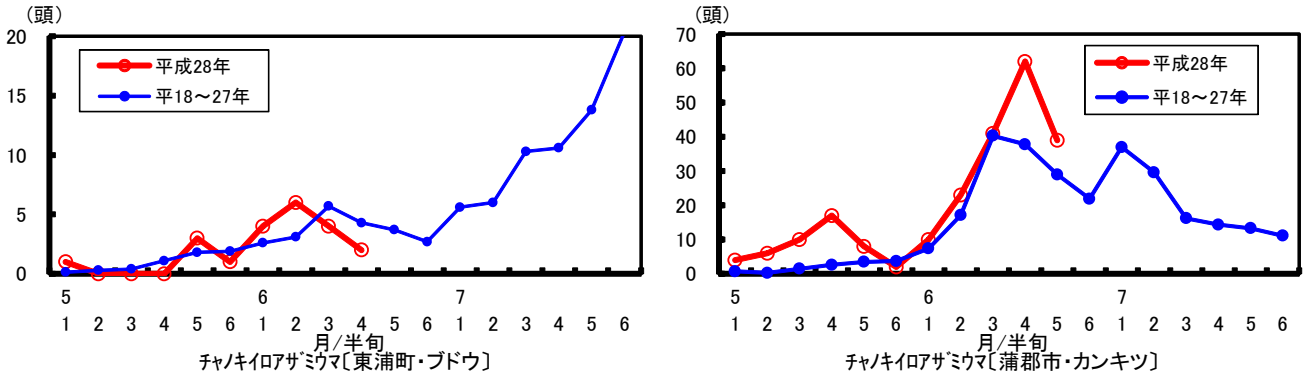


図 黄色粘着トラップによるチャノキイロアザミウマ成虫誘殺状況

6月下旬に行った、ほ場周囲における本種の生息数調査(ブドウ12及びカンキツ24ほ場のイヌマキ(防風垣)10新梢の払い落とし虫数)では、ブドウで0.8頭(平年3.9頭、前年1.6頭)、カンキツで4.6頭(平年9.9頭、前年14.8頭)で、ブドウでは少なく、カンキツではやや少ない発生量でした。ただし、ブドウなどでは例年に比べ発生量が多いほ場もあります。

2 発生ピークの予測と防除

成虫の発生ピーク時期が防除適期です。有効積算温度を利用したチャノキイロアザミウマ第3世代成虫の発生ピーク予測日は、中山間部に位置する稲武を除いて6月30日から7月8日で、前年より3日から7日早いと予測します(表1)。発生が多いほ場では、表1の第3世代成虫発生ピーク時期に表2の薬剤などで防除しましょう。

表1 チャノキイロアザミウマ成虫の発生ピーク予測日

	愛西	大府	南知多	名古屋	豊田	岡崎	蒲郡	豊橋	伊良湖	新城	稲武
第2世代	6/13	6/9	6/13	6/8	6/13	6/14	6/11	6/12	6/11	6/16	7/6
第3世代	7/5	7/2	7/6	6/30	7/5	7/6	7/4	7/7	7/4	7/8	7/29
(前年)	7/9	7/6	7/12	7/4	7/8	7/11	7/10	7/11	7/11	7/14	7/30
前年差	4日早	4日早	6日早	4日早	3日早	5日早	6日早	4日早	7日早	6日早	2日早*
第4世代	7/24	7/22	7/25	7/19	7/25	7/25	7/23	7/26	7/23	7/27	8/20

各地のアメダス平均気温から予測。 ※稲武については、第2世代の前年ピーク日と前年差。6月30日までは実測値を、それ以降は平年値(豊橋、大府は前年値)を用いて計算。前年の第3世代は、前年気温の実測値を用いて計算。

表2 チャノキイロアザミウマの主な防除薬剤

作物	薬剤名
ブドウ	コルト顆粒水和剤
	ダントツ水溶剤
カキ	スプラサイド水和剤
	モスピラン顆粒水溶剤
カンキツ	アルバリン/スタークル顆粒水溶剤
	コテツフロアブル

農薬の散布に当たっては、ラベルの表示事項を守るとともに、他の作物や周辺環境への飛散防止に努めましょう。